

4章

外傷CT読影 —ここに注意！

FACTに続いて第2段階読影を行う際に注意すべきポイントを、治療方針にかかわる重要損傷、見逃しやすい／診断の遅れやすい損傷を中心に、部位別に解説しています。いずれの部位でも共通するのは、MPRやthin sliceを活用して多方向から詳細に観察することが求められる点です。その後の出血進行を示唆する所見は迅速に（EVIL＋凝固破綻おそるべし！）、そして機能予後にかかわる所見も着実に拾い上げられるように。